

4/28  
東日

サ高住 介護崩壊か

**感染拡大 43人を5人で対応**

北海道千歳市のサービス付き高齢者向け住宅で、新型コロナウイルスの感染拡大により介護職員が4分の1以下に減り、介助が十分にできなくなっていること

が施設側への取材でわかった。これまでに入居者と職員計10人の陽性が判明し、

## ■国内の新型コロナウイルス感染者

国内での確認例 1万3606人(+167) 死者 394人(+22)

〔27日午後8時半現在。カッコ内は26日午後10時半からの増加数。網掛けは政府指定の「特定警戒都道府県」。総数には厚労省の発表も含み、一部重複の可能性がある〕

北海道

入居者43人がPCR検査の結果を待っている。これ以上職員が減るとサービスを続けられない恐れがある。この施設は「グラン・セラ・柏陽」。運営会社の高橋宏昌社長によると、約50人が入居。今月18日ごろ、併設するデイサービスを10日に利用した男性の陽性が確認され、18日以降に職員2人が発熱。入居者も次々と発熱するなどし、デイサービスは閉鎖した。

高齢者住宅でディサービスで働く介護職員は常勤とパートで二十数人。感染の判明後、複数のパート職員がやめ、発熱などで出勤できない人も出て、28日から5人になるという。

社員は専門知識がなく、同業者や行政から人的支援を受けられるめどは立っていないという。

高橋社長は「極限状態で介護崩壊が迫っている。このまま人的支援がなければサービスを続けられない」と訴えた。道は25日までに千歳市の通所介護関連施設での入居者5人と職員5人の感染を公表したが、施設名は明らかにしていない。